

教科(科目)	美術	総時数	35時間	学年(コース)	2学年
使用教科書	光村図書『美術2・3』				
副教材等	秀学社「美術資料」				

1 学習の目標

- ・日本の美術を鑑賞し、またその技法を知る。
- ・生活の中での美術的な視点を身につける。

2 指導の重点

- ①鳥獣戯画の模写により、日本美術の基礎的な技法である毛筆を学ばせる。
- ②モビールの制作により、生活の中で飾ることのできる作品作りを工夫させる。
- ③身近な物の美しさに気づく。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習内容(指導内容)	時間	評価方法
4	日本の美術	筆、墨、梅皿、半紙	鳥獣戯画についてのガイダンス。 鳥獣戯画の模写。毛筆による線の練習。 墨と筆の扱い方。	3	作品提出
5	日本の美術	筆、墨、梅皿、半紙	鳥獣戯画の模写。動物を描く練習。	3	作品提出
6	日本の美術	筆、墨、梅皿、半紙	鳥獣戯画の模写。一場面全体を描く。	4	作品提出
7	日本の美術	筆、墨、梅皿、半紙	鳥獣戯画の模写。作品の裏打ち。 日本美術に関するビデオの鑑賞。	3	作品提出
8					
9	立体の飾り	針金、ペンチ、金きりばさみ	モビールの制作。デザインを考える。 木材、金属などの材料の扱い方。	4	作品提出
10	立体の飾り	針金、ペンチ、金きりばさみ	モビールの制作。木材、金属などによって立体物の制作。	4	作品提出
11	立体の飾り	針金、ペンチ、金きりばさみ	モビールの制作。木材、金属などによって立体物の制作。	4	作品提出
12	立体の飾り 映像表現	糸、針金 映画「岸辺の二人」 のDVD	作ったものを組み合わせ、バランスを考えて吊る。 映画「岸辺のふたりの鑑賞」	3	作品提出
1	身の回りの物 を見つめて	鉛筆	身近な物を描いた作品の鑑賞。 描きたい物を探す。	2	作品提出
2	身の回りにも のを見つめて	水彩絵の具	水彩絵の具で、身近な物を描く。	3	作品提出
3	身の回りの物 を見つめて	水彩絵の具	水彩絵の具で、身近な物を描く。	2	作品提出

4 課題・提出物等

・鳥獣戯画の模写、モビール、水彩画

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り込む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆の線を引くことができる。 ・鳥獣戯画の描き方を理解している。 ・材料と表現を結び付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆の線と形態との関係を理解し、描くことができる。 ・立体をイメージし、造形することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の美術の美しさを制作を通して感じ取ろうとしている。 ・身の回りの物の美しさを見出そうとしている。
<p>踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・取り組み方 ・提出物の内容 <p>などから、総合的に評価します。</p>		

6 担当者からの一言

二年生の美術は、一年の学習の応用発展になります。

技術的には難しいところもありますが、一つずつ丁寧に取り組んで作品を完成させてください。

(担当：安田)